

7月5日(金)

ほしまつりおたのしみかい

織姫と彦星にも 楽しさが届いたかな？

『みんなが集まると、楽しいことがはじまる!』

年長児(そらぐみ)は、今まで積み重ねてきた保育園生活の中でその事を十分に感じています。

今日は自分たちが『楽しいこと』を考えて他のクラスのなかまに披露する事で、そのワクワクを分かち合う事ができた様です。

決して華やかな会ではないけれど、空に広がる星々に思いを馳せながら喜びや嬉しさ、楽しさが心にじわじわと染み渡る(折り染めの短冊の様に...) そんなひとときを過ごしたこどもたちです。



5歳児そらぐみ たなばたのおはなし



毎年この時期にこどもたちと読み語っている絵本です



7月7日(日)の七夕を前に、ホールの笹に飾られた短冊。ゆれるたびに涼やかさを運んでくれます。3歳つきぐみ、4歳ほしぐみ、5歳そらぐみのこどもたちが染めた穏やかな色彩だからこそその清涼感です。



ホールで行うおたのしみかいの準備はそらぐみのこどもたちが力をあわせて!!



ほしまつりおたのしみかいの余韻を感じながらのおひるごはんやおやつ。強い日差しの日でしたがこころもからだもゆったりと。



うた ほしまつり

5歳児そらぐみのこどもたちが中心となって七夕の時期に毎日歌ってきた「ほしまつり」(勝 承夫 作詞/平岡照章 作曲)は情緒的な歌詞と、ほしの瞬きを感じる様なメロディーが美しい一曲です。七夕を彩り、心で楽しさを感じる大切なエッセンスとなりました。

